

「玄関先ではコートを脱ぎましょう」

この呼びかけを見てどう感じられましたか？

「寒い玄関先で脱ぐなんて、風邪を引いたらどうするの?!」「何を古臭いことを…」「そんなこと言われたことがない!」など、思うところはいろいろあるのではないのでしょうか。

附属小学校のルールというわけではないのですが、昔から日本のマナーとして伝わっているものがあります。筆者（生徒指導主事）が高校生の頃（昭和時代）は、高校のルールとしてこれがありました。若かった私は「寒い冬に玄関で脱ぐなんてあり得ない…」ぐらいに反発していましたが、教員になって6年生を体験学習のために学区内の中学校に引率したときも、その中学校の先生に「玄関先で脱ぐように」と6年生が声をかけられました（平成時代）。世の中の「常識」として捉えられていて、ビジネスの場でも大事なのだそうです。生活様式の変化によって、マナーが変化しているものもあるでしょうが、なぜこんなマナーがあるのか5年生が考えてみました。

5年生の子どもたちも、そのマナーを知らない、守るには寒すぎる、荷物もあるし脱ぐのは大変、等の意見が多かったのですが、ある女の子はお母さんからその意味まで教えてもらったことがあるようで、みんなに教えてくれました。相手のお宅に訪問した際、「**コートを着たまま部屋に入るとするのは、家の中が寒いということをお宅の方に伝えていることになり、暖かくして迎えてくれている方に対して失礼にあたる**」という考えからだそうです（諸説あり）。なんと相手の気持ちを思いやった優しい思いからのマナーなのでしょう！

「寒いから嫌だ」「古臭いマナーだ」「めんどくさい」などの気持ちも分かりますが、自分中心な考え方なんだなあと気付かされます。



ルールではありませんが、学校の場面では「教室に入る前には脱いだ方がいい。理由は、コートや帽子に雪が付いていて教室内で解けた水で友達の大事なプリントや教科書が濡れてしまうかもしれないから。」という思いやり目標に学級内では落ち着きました。

相手を思いやる気持ち。自分の尺度だけで考えない。あたたかい人間関係を築いていくためにも大事なことなのではないかと考えました。

スマホやインターネットを上手に使う

スマホやインターネットの普及により、全国的に子どもたちがトラブルに巻き込まれる事例が増加し、その対策が緊急の課題になっています。また、子どもたち同士でのやりとりから誤解やすれ違いが生じて、嫌な思いをするということもあり得る話です。オーストラリアでは16歳未満のSNS利用を禁止する法律が可決されました。これからの社会に出て行く子どもたちにとって、インターネットなどの活用能力は必須ですので、情報機器の利用は避けては通れません。学校では、日常的に情報モラルの指導を行っていますが、ご家庭ではいかがでしょうか。

スマホやインターネットに時間を使いそうな冬休みを前に、ご家庭での守るべきルール、マナー、

危険から身を守るための注意事項をお子さんとともに確認し、安全で正しい活用について話し合っていたらと思います。

東京都の資料を基にネット利用のしかたチェックをまとめてみました。これを基に、ご家庭での話題にしてみてもいかがでしょうか。それぞれのご家庭でのルール作りも進められたらと思います。

子ども用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
スマホやネットを使う時間の長さや時間帯を家の人と決めている。	
迷惑メール・メッセージが来ても、無視して返事をしない。	
変なWebページが開いたら、すぐにそのページは閉じるようにしている。	
ネットショッピングやゲームへの課金を、家の人にはいじょうでしていない。	
家の人許可をとってからアプリや動画などをダウンロードをしている。	
動画や画像をアップロードしない、または、するときは家の人許可をとっている。	
SNSやブログなどに、個人情報（自分のでも友達のも）を書き込んでいない。	
パスワードを大切にし、他人のパスワードをたずねたり使ったりしない。	
チャットやSNSなどで初めての人にさそわれても、実際に会わない。	
SNSなどに悪口やうそ、事実であっても公表してはいけないことを書き込んでいない。	
困ったことがあったり、変なメールやページを見つけたりしたときは、家の人にすぐに話すようにしている。	

保護者用 ネット利用のしかたチェック

チェック内容	○印
情報モラルに関わる事件や課題について関心をもってニュースなどをチェックしている。	
子どもにスマホを与える前に、本当に必要かどうかよく検討し、使わせる場合はフィルタリングの設定や使用時間の制限をしている。	
パソコンは子どもだけで使う場所には置かず、家族の目が届く場所に置いている。	
子どもと話し合っ、スマホやインターネットを使う際のルールを作り、守らせている。	
ブラウザやフィルタリングアプリの「閲覧履歴」を定期的に見て、子どもがどのようなページを見ているか確認している。	
子どもにクレジットカード情報を教えたり、子どもにクレジットカード情報を見られるような場面を作ったりしていない。	
子どものSNS使用状況を定期的を確認している。	
子どものSNS等のパスワードを知っている（秘密にしていない）、または管理している。	
スマホやインターネットの使い方や、ネットに関わる事件について家族で話題にしている。	
子どもがスマホ、特にネットゲームやビデオチャット等をしている実際の様子をよく見ている。	
家族での会話を大切にし、困ったことを子どもが話しやすい雰囲気を作っている。	

冬休みに入ります。年末年始の家族内での関わりや役割分担を増やし、家族の中での子どものやる気や存在感を高めていけたらと思います。お年玉の自己管理経験もよいお勉強。

冬休みはリラックスするとともに、家族の中でたくさんお話をし、何かがんばれたことがあれば、冬休みが明けてもよい方向につながっていくものと思います。



文責：生徒指導主事（石田）